

# 補佐官発言 立憲主義を否定

非常勤公務員

(千葉県 63)

7/29  
午後2時

磯崎陽輔首相補佐官が講演で、安全保障関連法案について、「考え方」といふのは、我が国を守るために必要な措置かどうかで、法的安定性は関係ない」と語った。「政府の憲法解釈だから、時代が変われば必要に応じて変わる」とも述べたという。磯崎氏の発言は、憲法を頭から否定するものである。憲法擁護義務がある首相補佐官の「ような発言を、絶対に認めるわけにはいかない。

菅義偉官房長官は「法的安定性を否定したものではない。誤解されるような発

言は慎まなければならぬ」と述べ、解任の必要はない」と擁護した。磯崎発言の重さを全く理解していないと嘆ねざるを得ない。

安保法案は、衆院憲法審査会で3人の憲法学者から「憲法違反」と指摘されるなど、もぬめて問題の多い法案だ。国民の理解も深まつておらず、世論調査では多くの国民が反対している。そんな中で飛び出した、磯崎氏の発言である。憲法で権力を縛る立憲主義を否定するもので大いに問題だが、磯崎氏を擁護した菅官房長官の発言も政権の体質を表していぬよいで看過できない。

## 抑留の父から 壁の9条継承

編み物講師

(大阪府 64)

私は憲法9条を全文から読みじて、かよつゝとした自慢です。

3年前に88歳で亡くなった父はシベリア抑留経験者でした。過酷な強制労働の中で戦友は何人も命を落とし、自身も塩不足の体で高さ15センチの線路のレールをまたぐのが足が上がらなかつたそうです。4年余の抑留生活に耐え、ズボンのポケットにシベリアの岩塩をいっぱい詰めて復員。戦後は勤めていた企業に復職できたものの、シベリア帰りのため「アカ」(共産主義)のレッテルを貼られ

たそうです。「九条の会」に入つて、戦争反対、平和を守る立場を貫いた人生でした。その父が居間の壁に貼つていたのが、本から切り抜いた9条が書かれた紙片でした。父の死後、私がもらひ受けトイレの壁に貼つて暗唱しました。編み物教室など」「9条って知ってる?こんな内容よ」と声に出しつづけて。9条は世界に誇れる格調高い条文です。9条を読めば私が「戦争法案」と呼んでいる安全保障関連法案のことや、良識ある人々が「違憲」であると断るのは当たり前だと分かります。一度せひ真に出して読んでみてください。